

平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイ・オー・データ機器  
 コード番号 6916 URL <http://www.iodata.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室 室長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 細野 昭雄  
 (氏名) 真田 秀樹

TEL 076-260-3377

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	27,070	△9.9	389	△51.9	313	△64.7	△726	—
24年6月期第3四半期	30,039	△12.7	809	—	886	—	850	—

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 144百万円 (△88.4%) 24年6月期第3四半期 1,242百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	△54.20	—
24年6月期第3四半期	63.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第3四半期	25,995	17,852	67.7
24年6月期	24,757	17,766	71.0

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 17,608百万円 24年6月期 17,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△4.0	500	—	400	—	△600	—	△44.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期3Q	14,839,349 株	24年6月期	14,839,349 株
② 期末自己株式数	25年6月期3Q	1,440,052 株	24年6月期	1,440,102 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期3Q	13,399,254 株	24年6月期3Q	13,399,280 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、下半期に入り政権交代を境に円高修正や株高が進み、回復気運は高まりましたが、期中は総じて長期化する円高と世界経済の停滞による影響を受け、厳しい状況で推移しました。

当企業グループを取り巻くデジタル家電市場におきましても、スマートフォンやタブレット端末の普及は本格期を迎え、関連市場は盛り上がりを見せましたが、パソコン関連需要の長期停滞傾向が続く中、地上デジタル放送移行後のTV関連需要の急収縮が重なり、市場全般には厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当企業グループは、成長性と安定的な収益性の確立を目指し、スマートデバイス関連分野を中心に、ビジネスシーンやライフスタイルを変える新提案を積極展開し需要創造に努めました。しかし、パソコンおよびTV周辺需要の冷え込みによる減収を補うには至らず、売上高は前年同期を下回りました。

利益面につきましては、一層の原価低減や諸経費削減、製品展開や販売条件の精査を進め、第2四半期以降は四半期毎に利益を積み重ねましたが、製品全般の低価格化の進展と在庫調整にともなう採算悪化が重なり生じた第1四半期の損失が響き、営業利益以下の全ての項目で前年同期を下回りました。また、営業利益、経常利益段階では黒字を確保するものの、四半期純損益については、厳しい経営環境と業績進捗を踏まえ、当第3四半期連結累計期間において希望退職者募集等の経営合理化策を決定し、事業構造改善費用3億91百万円を特別損失に計上したほか、繰延税金資産の一部を取り崩し、4億97百万円を法人税等調整額に計上した影響により、損失を計上する結果となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は270億70百万円（前年同期比9.9%減）、営業利益は3億89百万円（前年同期比51.9%減）、経常利益は3億13百万円（前年同期比64.7%減）、四半期純損失は7億26百万円（前年同期は8億50百万円の四半期純利益）となりました。

#### 「増設メモリボード部門」

メモリボードは、パソコンの初期搭載容量の増加による増設需要の減少が続いており、売上高は前年同期を下回りました。メモリカード、USBメモリ等のフラッシュ製品は、高速規格USB3.0に対応するUSBメモリを中心に拡販に努めましたが、低価格化が進行し、売上高は前年同期を下回りました。この結果、増設メモリボード部門の売上高は17億78百万円（前年同期比22.8%減）となりました。

#### 「ストレージ部門」

落下や衝撃からデータを守るGセンサー搭載の耐衝撃ポータブルハードディスク等の新提案を開始しましたが、TVの販売不振の影響を受け、主力の録画用途のハードディスクの販売は伸び悩み、売上高は前年同期を下回る101億10百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

#### 「液晶部門」

前期に拡充を進めたLEDバックライト採用の低消費電力モデルや、解像度の低い映像も美しく再現する「超解像技術」を搭載した新シリーズの拡販に注力しましたが、案件需要の低迷と地上デジタルチューナー搭載モデルの減収が響き、売上高は前年同期を下回る39億59百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

#### 「周辺機器部門」

マルチメディア関連製品、デジタル家電関連製品については、高画質な地上デジタル放送をスマートフォンやタブレット端末で視聴する等の新提案を強化しておりますが、全般的には移行需要の一巡による地上デジタルチューナー分野の減収が大きく響き、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

ネットワーク製品については、スマートデバイスとの接続連携や家庭内のAV機器間のコンテンツ視聴に、また、法人向けのデータ保全分野等に最適な提案を目指して、無線LAN製品やNASを中心に新機能開発と拡販に努め販売台数は伸張しましたが、低価格化の進行により、売上高は前年同期に僅かに及びませんでした。無線LAN製品では、従来の約11.5倍もの高速化を実現する次世代無線LAN規格「11ac」技術を搭載した新ラインナップを進めました。スマートフォン向けの展開では、新たに遠隔監視用のネットワークカメラの他、NASでは人気のクラウドストレージサービス「Dropbox」との連携モデルの充実と拡販を進めるとともに、世界初となるDTCP+技術を利用し、著作権保護されたデジタル放送の録画番組を外出先のモバイル機器から楽しむことができるNASの新モデル『RECBOX +REMOTE』も発売しました。

以上の結果、周辺機器部門の売上高は55億65百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

#### 「特注部門」

デジタル家電関連や通信事業者向け等へのOEM製品販売は概ね堅調に推移しており、売上高は28億21百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

#### 「その他」

連結子会社ITGマーケティング株式会社を通じたサムスン電子社製SSD（フラッシュメモリを使用した記憶装置）等、自社製品のラインナップを補完する電子部品ならびに他社商品の販売が好調に推移し、売上高は28億34百万円（前年同期比73.0%増）となりました。

### （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて12億38百万円増加し、259億95百万円となりました。これは、現金及び預金が10億28百万円、受取手形及び売掛金が8億16百万円増加し、たな卸資産が5億87百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて11億52百万円増加し、81億43百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が13億3百万円増加し、仕入債務等の決済資金としての短期借入金残高が5億円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて85百万円増加し、178億52百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益が5億3百万円、為替換算調整勘定が2億38百万円増加し、四半期純損失7億26百万円の計上等によるものであります。

### （3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月28日付「平成25年6月期連結業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ」にて公表しました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成25年6月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,119	6,148
受取手形及び売掛金	6,324	7,140
商品及び製品	4,685	3,739
原材料及び貯蔵品	1,426	1,784
その他	685	1,466
貸倒引当金	△9	△12
流動資産合計	18,232	20,267
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,880	2,880
その他(純額)	1,019	963
有形固定資産合計	3,900	3,844
無形固定資産	166	144
投資その他の資産	2,457	1,739
固定資産合計	6,524	5,728
資産合計	24,757	25,995
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,098	5,401
短期借入金	1,000	500
未払法人税等	65	88
ポイント引当金	24	18
賞与引当金	—	89
事業構造改善引当金	—	19
その他	1,057	1,196
流動負債合計	6,245	7,313
固定負債		
役員退職慰労引当金	110	110
リサイクル費用引当金	333	346
製品保証引当金	222	198
その他	78	174
固定負債合計	745	830
負債合計	6,990	8,143
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,228	4,228
利益剰余金	11,194	10,401
自己株式	△941	△941
株主資本合計	18,070	17,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	78
繰延ヘッジ損益	△39	464
為替換算調整勘定	△450	△211
その他の包括利益累計額合計	△485	331
少数株主持分	181	244
純資産合計	17,766	17,852
負債純資産合計	24,757	25,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	30,039	27,070
売上原価	24,347	22,451
売上総利益	5,692	4,619
販売費及び一般管理費	4,882	4,230
営業利益	809	389
営業外収益		
受取利息	1	8
仕入割引	83	56
持分法による投資利益	8	19
助成金収入	29	47
その他	54	39
営業外収益合計	178	171
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	5	149
売上割引	85	67
その他	9	29
営業外費用合計	101	247
経常利益	886	313
特別損失		
投資有価証券評価損	66	11
会員権評価損	—	2
事業構造改善費用	—	391
特別損失合計	66	405
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	820	△92
法人税、住民税及び事業税	80	97
法人税等調整額	△115	497
法人税等合計	△35	595
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	855	△687
少数株主利益	4	38
四半期純利益又は四半期純損失(△)	850	△726



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	855	△687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	74
繰延ヘッジ損益	302	503
為替換算調整勘定	0	233
持分法適用会社に対する持分相当額	1	20
その他の包括利益合計	387	831
四半期包括利益	1,242	144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,236	90
少数株主に係る四半期包括利益	6	53

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループの事業はパソコン用周辺機器の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載していません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。